

令和 6 年度 学校経営環境分析書

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方中学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p><b>O</b> (支援的要因)</p> <p>【地域】</p> <p>① 特色ある産業があり、それを活用しての学習ができる。</p> <p>② 地域組織が確立され、中学生が参加できる地域行事がある。</p> <p>③ 地域の方々が、学校行事に協力的である。</p> <p>【保護者】</p> <p>④ PTA 役員が協力的である。</p> <p>⑤ 学力への関心が高まってきた。</p> <p>【その他】</p> <p>⑥ 1 小 1 中で小中学校の取組に系統性がある。</p>	<p><b>S</b> (強み)</p> <p>【学校】</p> <p>① 小規模校で学年ごとの行事等が取り組みやすい。</p> <p>② 協働的に取り組む組織体制が構築されている。</p> <p>③ N 中メソッドによる行動統一及び指導の徹底を図っている。</p> <p>④ ICT 教育を推進していく環境が整備されている。</p> <p>【生徒】</p> <p>⑤ 学級集団に対する肯定的な意識を持つ生徒が多い。</p> <p>⑥ 総合的な学習の時間・各教科等での自己表現活動が充実している。</p>	内部環境
	<p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <p>【保護者】</p> <p>① 核家族化が進み、子育てに悩んでいる保護者が増えている。</p> <p>② 家庭教育への意識の差がある。</p> <p>【生徒】</p> <p>③ SNS 等でのトラブルが増加しつつある。</p> <p>【その他】</p> <p>④ 他地域から隔絶しており、風土や慣習、価値観が変わりにくい。</p>	<p><b>W</b> (弱み)</p> <p>【生徒】</p> <p>① 学力・体力ともに、二極化の傾向がある。</p> <p>② 自律的意識が弱い。</p> <p>③ コロナ禍以降、不登校傾向にある生徒数が増加した。</p> <p>④ 基本的な生活習慣や家庭学習の習慣に課題のある生徒がいる。</p> <p>【学校】</p> <p>⑤ 「考える授業」に向けた授業改善を推進しているが、生徒の姿として表れてこない。</p>	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

- 小中一貫教育
  - ・教科指導・生徒指導における取組の連携
  - 【O56, S1234】
- 授業改善・自己表現力
  - ・「考える授業づくり」を通じた自己表現力の更なる向上
  - ・週末課題の充実やタブレット端末の活用による学力向上
  - 【O56, S2346】
- 集団適応感の更なる向上
  - ・自律的縦割り集団活動と生徒会活動の充実
  - 【O13, S1256】

- 不登校支援
  - ・NSR (仁方中サポートルーム) の組織的な運営による生徒の居場所づくり
  - 【T12 W3】
- 基礎学力の定着・向上
  - ・タブレット端末の効果的な活用 (キビナガト)
  - 【T2, W1245】
- 自己指導能力の育成
  - ・N 中メソッドを軸にした委員会活動の充実
  - 【T1234, W1245】
- 保護者連携, ICT 教育推進
  - ・生徒指導規定の活用
  - ・ICT 支援員の効果的な活用
  - 【T3 W15】

弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策は

2 重点課題

- ① 生徒指導実践上の 4 つの視点を基盤とした生徒が主体的に学ぶ「考える授業づくり」の推進。
- ② NSR (仁方中サポートルーム) の組織的な運営を核にした不登校支援の充実。
- ③ 週末課題・読書活動・Qubena・補充学習・コグトレを核とした学力向上の取組。
- ④ 自律的縦割り集団活動・ボランティア活動・生徒が主体的に学ぶ防災学習等の更なる充実。
- ⑤ 行事の見直しや授業時数管理による組織的な業務改善の推進。